令和４年７月会派合同研修報告書

７月１４日　山形県南陽市「**沖郷地区の地域公共交通(おきタク)」について**

研修については、安部由美子議会事務局長の司会で説明には、みらい戦略課の落合祐弥企画調整係主任と前司宏明企画調整で行なって頂いた。

「おきタク」は沖郷地区地域公共交通運行協議会が行なっている。沖郷地区は９地区の地区会があり、平成２６年から２８年にかけて全世帯に対して説明とヒヤリングやアンケートを行ない、地域の人が助けることで理解が得られ全世帯から負担金として年額２００円を毎年「沖郷地区地域公共交通運行協議会」に納めている。

質問事項として２０項目ほどを事前にお願いしていた。パワーポイントで説明を受けた。

沖郷地区の、高齢化率は、２７％で人口約７３００人、２５００世帯の地域であり「おきタク」の利用できる人についての基準は６０歳以上の方が利用出来る、利用については前日に予約を入れ利用料金は片道５００円である。利用料金の差額については協議会が支払いをする。

市内には４社のタクシー業者があり約３５台が走っているとのことでありました。

沖郷地区地域公共交通運行協議会は公民館の中に事務局を置き、事務職は会計任用制度の職員(公民館管理と兼ねている)が行なっている。利用する方は事前に登録カードを作り、前日にタクシー会社に予約行う。(登録番号と利用時間と行き先と帰る時間帯を予約)

乗降については自宅から、指定された医療機関２６カ所と金融機関１３カ所に公共機関８カ所と商業施設１２カ所を利用し自宅までとなる。利用時間は平日の８時から１７時まで。

沖郷地区(R１年１０月からR４年３月末)では対象人口が約２５００人の登録されている方は約４３０人で利用実績は１６１人の便数約５０００件です。

南陽市では、JR東日本路線と循環バス３路線と第三セクター(JRから受け継ぐ)路線などがある。

　事業収支は、地域からの拠出金(年額２００円)の基金と利用料金(１回５００円)で５１．８％、市からの補助金４８．２％で事業を行なっている。市補助金の内訳は国・県・市。

市から沖郷地区地域公共交通運行協議会に一括で補助金とし出している。全体の事業費は約２１４万円。

　運営体制は沖郷地区地域公共交通運行協議会と南陽市ハイヤー業者会と協定締結し補助金関係で南陽市・山形県・国(地区内フィーダー系統確保維持国庫補助金活用)の連携。

　ここまでになるのには、地区内のキーマンや地区内の役割分担と良きアドバイザーで「おきタク」のスタートとなった。

　事業者・行政任せでは暮らしの足は守れない。また、地域・事業者・自治体の三方良しを目指していく。地域でほんとに困っている人を数える作業が必要。おきタクを利用している人は沖郷地区の約１％の人、いつ自分がお世話になるかわからないから地域で支えている。

**森林環境税導入について**のレクチャーは、総務省　自治税務局市町村税課　住民税企画専門官　今道雄介氏と同主査　上野絢子氏と農林水産省　林野庁　森林整備部森林利用課　課長補佐(統括)吉本昌朗氏と同森林集積推進室　森林集積促進班促進係長　中口憲一氏より説明を受けました。令和６年度から課税される森林環境税及び森林環境譲与税については、納税義務者については約６２００万人が納めることになる話です。現在、市町村税３０００円・道府県民税１０００円を納めている上に令和６年から国税として森林環境税１０００円を納めることになる。森林環境譲与税は私有林人工面積・林業就業者数や人口により按分して、都道府県と市町村にそれぞれ事業に対して譲与税が国から交付される。市町村は事業内容等を公表しなければならないとなっている。

　現在導入前ではあるが準備のために令和元年予算２００億円と令和２・３年度は４００億円をそれぞれに譲与税として交付している。東かがわ市もR元年４００万円、２年と３年で約８５０万円交付されている。事業は市内全体の山林の調査(面積・名義等)を進めている。

　今後、市内での取り組みについて里山(民有林含め)など猪や猿・鹿の被害を抑える為の事業転換や植林を等の推進や管理においての事業展開に期待が出来る。今までに全国の事例などがあることから東かがわ市で取り入れたら良い案件も数多く紹介されている。

担い手育成において林業従事者や偉業集からの参入による研修会などを開き取り組めるとのことである事から里山等の管理に取り組めていくと思う。

**公共交通の支援施策について**、国の制度の「地域公共交通確保維持事業」の地域フィーダー系統確保維持費国庫補助金の(補助対象事業の基準)の活性化法法定協議会の補助要綱の補助率で(別表７の第１６条第１項関連)運賃低廉化の支援を受ける乗用タクシー事業に限り上限１００万円とする補助率の緩和をしてほしい要望を参議院議員磯崎仁彦内閣官房副長官と参議院議員三宅伸吾氏に要望を行なった。